

台風 15 号被害

住宅再建、ガレキ処理、農漁業・観光の再生 一日も早い日常の生活と生業を



加藤英雄、みわ由美県議らが 南房総市・館山市で要望を聞く

日本共産党の加藤英雄、みわ由美両県議、安田美由貴南房総市議らは9月21日、台風15号の被害を受けた南房総市と館山市内を調査しました。

房総半島南端部に位置する両市は、あちこちでブルーシートに覆われた屋根が続き、根こそぎなぎ倒された立木、傾いたままの電柱、押しつぶされたビニールハウスなど、強風被害は甚大です。

自主防災組織や医療機関、漁港・県水産試験場、被災家屋などを訪れ、被害状況や要望などを伺いました。ある夫婦は「こんな台風は初めて。ボランティアの人がシートを張ってくれたが、雨もりは完全に止まらない」と、やり場のない憤りを訴えていました。近くにある店舗の屋根は梁ごと吹き飛びました。22日現在、両市合わせた住宅被害は1071棟に達し、手つかずの家もあります。

長期間におよぶ停電への不満がどこでも聞かれ、いまだに南房総市では、1300軒（22日午後3時時点）が停電しています。

今後、住宅の補修、ガレキの処理、農業・漁業、観光（地場産業）の再生など日常の生活と生業を取り戻すための課題は山積です。

被災地の声に沿ったきめ細やかな支援を県や国に求め、一日にも早い救援、復旧・復興に全力をあげていきます。

みわ由美県議一般質問

10月3日（木）

午後1時45分頃



日本共産党

